

【表紙】

【提出書類】	四半期報告書
【根拠条文】	金融商品取引法第24条の4の7第1項
【提出先】	関東財務局長
【提出日】	2021年1月14日
【四半期会計期間】	第45期第3四半期（自 2020年9月1日 至 2020年11月30日）
【会社名】	株式会社ピクルスコーポレーション
【英訳名】	PICKLES CORPORATION
【代表者の役職氏名】	代表取締役社長 宮本 雅弘
【本店の所在の場所】	埼玉県所沢市東住吉7番8号
【電話番号】	04（2925）7700（代表）
【事務連絡者氏名】	取締役経理財務部長 三品 徹
【最寄りの連絡場所】	埼玉県所沢市東住吉7番8号
【電話番号】	04（2925）7700（代表）
【事務連絡者氏名】	取締役経理財務部長 三品 徹
【縦覧に供する場所】	株式会社東京証券取引所 （東京都中央区日本橋兜町2番1号）

第一部【企業情報】

第1【企業の概況】

1【主要な経営指標等の推移】

回次	第44期 第3四半期連結 累計期間	第45期 第3四半期連結 累計期間	第44期
会計期間	自 2019年3月1日 至 2019年11月30日	自 2020年3月1日 至 2020年11月30日	自 2019年3月1日 至 2020年2月29日
売上高 (百万円)	31,410	35,216	41,417
経常利益 (百万円)	1,683	2,384	1,973
親会社株主に帰属する四半期 (当期)純利益 (百万円)	1,155	1,616	1,290
四半期包括利益又は包括利益 (百万円)	1,138	1,632	1,253
純資産額 (百万円)	12,891	14,492	13,016
総資産額 (百万円)	24,647	25,436	24,271
1株当たり四半期(当期)純利 益 (円)	180.63	252.56	201.67
潜在株式調整後1株当たり四半 期(当期)純利益 (円)	178.88	250.44	199.58
自己資本比率 (%)	51.9	56.6	53.2

回次	第44期 第3四半期連結 会計期間	第45期 第3四半期連結 会計期間
会計期間	自 2019年9月1日 至 2019年11月30日	自 2020年9月1日 至 2020年11月30日
1株当たり四半期純利益 (円)	23.08	50.52

(注) 1 当社は四半期連結財務諸表を作成しておりますので、提出会社の主要な経営指標等の推移については記載しておりません。

2 売上高には、消費税等は含まれておりません。

2【事業の内容】

当第3四半期連結累計期間において、当社グループ(当社及び当社の関係会社)において営まれている事業の内容に重要な変更はありません。また、主要な関係会社における異動もありません。

第2【事業の状況】

1【事業等のリスク】

当第3四半期連結累計期間において、新たに発生した事業等のリスクはありません。
また、前事業年度の有価証券報告書に記載した事業等のリスクについて重要な変更はありません。

2【経営者による財政状態、経営成績及びキャッシュ・フローの状況の分析】

文中の将来に関する事項は、当四半期連結会計期間の末日現在において判断したものであります。

(1) 経営成績の分析

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、新型コロナウイルス感染症の影響により、経済活動が抑制され景気は依然として厳しい状況となりました。政府の各種政策が実施され、持ち直しの動きも見られましたが、再び感染拡大が見られるなど、未だに収束時期の見通しが立っておらず、引き続き予断を許さない状況が続いております。

食品業界におきましては、新型コロナウイルス感染症の拡大に伴う外出自粛による巣ごもり消費により内食需要が増加しましたが、外出需要が落ち込むなどの変化が生じております。また、消費者の健康志向への意識は引き続き高く、さまざまなニーズへの対応が求められております。

このような状況のなか、当社グループは、北海道から九州まで展開している全国ネットワークを活用し、新規得意先の開拓や、既存得意先の拡販に取り組みました。

販売面では、㈱フードレーベルにおいて、「牛角シリーズ商品を買って・食べて・飲んで元気」プレゼントキャンペーン」と題し、「牛角韓国直送キムチ」や「牛角やみつきになる！丸ごと塩オクラ」などの商品を対象としたキャンペーンを実施しております。また、TRFのSAMさんら3名を起用した新しいCMを制作し、10月より全国で放送しております。

製品開発面では、地域限定商品として「ご飯がススム 千枚キムチ」や、牛角ブランドを使用した「牛角麻辣ドレッシング」などを発売いたしました。また、量販店などへの提案商品の幅を広げるため「ご飯がススム豆腐チゲの素」を発売しております。その他、コラボ商品の開発や、既存商品のリニューアル等を実施いたしました。

新規事業については、外食事業及び小売事業を行う「OH!!!～発酵、健康、食の魔法!!!～」（所在地：埼玉県飯能市）を10月16日に開業いたしました。このテーマパークは「発酵」をテーマとしており、セレクトショップとレストラン、カフェ、ワークショップの4つの施設を展開しております。

新型コロナウイルス感染症への対策として、出勤前及び出勤時の検温、業務中のマスクの着用、手指消毒や定期的な換気、事務所や休憩室におけるアクリル板の設置、時差出勤、在宅勤務などを継続して実施しております。なお、感染が拡大している状況を鑑み、当社グループの従業員に対して「新型コロナウイルス感染症に関するお見舞金」を支給しております。

売上高は、外出自粛に伴う巣ごもり消費により家庭での食事の機会が増えたことや、健康志向の高まりにより乳酸菌を含む食品としてキムチの需要が増えたことに加え、キムチがテレビ番組で取り上げられたことなどにより、「ご飯がススム キムチ」などキムチ製品をはじめとした製品売上高が大幅に増加したことにより、増収となりました。

利益については、春先の低温や、夏場の長雨、猛暑などにより野菜の生育不良などが生じ、原料野菜の仕入価格が高騰した時期もありましたが、秋は天候が順調に推移し、仕入価格が比較的安定したことや、増収効果、商品規格の見直しや生産アイテムの集約による生産の効率化などにより、増益となりました。

以上の結果、当第3四半期連結累計期間における売上高は35,216百万円（前年同四半期比12.1%増）、営業利益は2,293百万円（同45.8%増）、経常利益は2,384百万円（同41.7%増）、親会社株主に帰属する四半期純利益は1,616百万円（同39.9%増）となりました。

(2) 財政状態の分析

当第3四半期連結会計期間末の総資産は、前連結会計年度末に比べて1,165百万円増加し、25,436百万円となりました。これは主に現金及び預金が1,179百万円、OH!!!の店舗設備新築工事等により建物及び構築物が548百万円それぞれ増加したことによるものであります。

負債については、前連結会計年度末に比べて310百万円減少し、10,944百万円となりました。これは主に短期借入金が増加した一方、買掛金が113百万円、長期借入金が増加したことで減少したことによるものであります。

純資産は前連結会計年度末に比べて1,475百万円増加し、14,492百万円となりました。これは主に親会社株主に帰属する四半期純利益により利益剰余金が増加したことによるものであります。

(3) 経営方針・経営戦略等

当第3四半期連結累計期間において、当社グループが定めている経営方針・経営戦略等について重要な変更はありません。

(4) 事業上及び財務上の対処すべき課題

当第3四半期連結累計期間において、当連結会社の事業上及び財務上の対処すべき課題に重要な変更及び新たに生じた課題はありません。

(5) 研究開発活動

当第3四半期連結累計期間の研究開発費は224百万円であります。

なお、当第3四半期連結累計期間において、当社グループの研究開発活動の状況に重要な変更はありません。

(6) 主要な設備

当第3四半期連結累計期間において、新たに完成した重要な設備の新設は次の通りであります。

会社名 事業所名	所在地	設備の内容	投資金額 (百万円)	資金調達方法	着手及び完了		完成後の増加 能力
			総額		着手	完了	
(株)OH OH!!!発酵・ 健康・食の 魔法!!!	埼玉県 飯能市	店舗設備	1,010	自己資金及 び借入金	2019年8月	2020年7月	-

(注) 当該設備は、提出会社が保有し、(株)OHが事業運営を行います。10月16日より事業を開始しております。

3【経営上の重要な契約等】

当第3四半期連結会計期間において、経営上の重要な契約等はありません。

第3【提出会社の状況】

1【株式等の状況】

(1)【株式の総数等】

【株式の総数】

種類	発行可能株式総数(株)
普通株式	23,592,000
計	23,592,000

【発行済株式】

種類	第3四半期会計期間末 現在発行数(株) (2020年11月30日)	提出日現在発行数 (株) (2021年1月14日)	上場金融商品取引所 名又は登録認可金融 商品取引業協会名	内容
普通株式	6,427,300	6,427,300	東京証券取引所 市場第一部	単元株式数 100株
計	6,427,300	6,427,300	-	-

(2)【新株予約権等の状況】

【ストックオプション制度の内容】

該当事項はありません。

【その他の新株予約権等の状況】

該当事項はありません。

(3)【行使価額修正条項付新株予約権付社債券等の行使状況等】

該当事項はありません。

(4)【発行済株式総数、資本金等の推移】

年月日	発行済株式 総数増減数 (株)	発行済株式 総数残高 (株)	資本金増減額 (百万円)	資本金残高 (百万円)	資本準備金 増減額 (百万円)	資本準備金 残高 (百万円)
2020年9月1日～ 2020年11月30日 (注)	29,300	6,427,300	22	763	22	730

(注) 新株予約権の行使による増加であります。

(5)【大株主の状況】

当四半期会計期間は第3四半期会計期間であるため、記載事項はありません。

(6) 【議決権の状況】

【発行済株式】

2020年11月30日現在

区分	株式数(株)	議決権の数(個)	内容
無議決権株式	-	-	-
議決権制限株式(自己株式等)	-	-	-
議決権制限株式(その他)	-	-	-
完全議決権株式(自己株式等)	(自己保有株式) 普通株式 200	-	-
完全議決権株式(その他)	普通株式 6,424,600	64,246	-
単元未満株式	普通株式 2,500	-	-
発行済株式総数	6,427,300	-	-
総株主の議決権	-	64,246	-

(注) 「単元未満株式」には、当社所有の自己株式93株が含まれております。

【自己株式等】

2020年11月30日現在

所有者の氏名又は名称	所有者の住所	自己名義 所有株式数 (株)	他人名義 所有株式数 (株)	所有株式数 の合計 (株)	発行済株式 総数に対する 所有株式数 の割合(%)
(自己保有株式) 株式会社ピックルスコーポ レーション	埼玉県所沢市東住吉7-8	200	-	200	0.00
計	-	200	-	200	0.00

2 【役員の状況】

該当事項はありません。

第4【経理の状況】

1 四半期連結財務諸表の作成方法について

当社の四半期連結財務諸表は、「四半期連結財務諸表の用語、様式及び作成方法に関する規則」（2007年内閣府令第64号）に基づいて作成しております。

2 監査証明について

当社は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、第3四半期連結会計期間（2020年9月1日から2020年11月30日）及び第3四半期連結累計期間（2020年3月1日から2020年11月30日まで）に係る四半期連結財務諸表について、監査法人日本橋事務所により四半期レビューを受けております。

1【四半期連結財務諸表】

(1)【四半期連結貸借対照表】

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2020年2月29日)	当第3四半期連結会計期間 (2020年11月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	3,309	4,489
受取手形及び売掛金	4,998	4,488
商品及び製品	273	358
仕掛品	78	78
原材料及び貯蔵品	269	289
その他	60	77
貸倒引当金	0	-
流動資産合計	8,990	9,782
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	5,032	5,581
機械装置及び運搬具（純額）	1,697	1,816
土地	6,506	6,411
リース資産（純額）	64	55
建設仮勘定	307	7
その他（純額）	53	173
有形固定資産合計	13,661	14,045
無形固定資産		
のれん	609	533
その他	123	136
無形固定資産合計	733	670
投資その他の資産		
投資有価証券	478	531
繰延税金資産	359	358
その他	137	137
貸倒引当金	0	-
投資損失引当金	89	89
投資その他の資産合計	885	938
固定資産合計	15,280	15,653
資産合計	24,271	25,436

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2020年2月29日)	当第3四半期連結会計期間 (2020年11月30日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	3,484	3,370
短期借入金	1,450	1,650
1年内返済予定の長期借入金	981	1,153
リース債務	8	6
未払法人税等	472	424
賞与引当金	135	63
役員賞与引当金	73	-
その他	1,839	1,876
流動負債合計	8,444	8,544
固定負債		
長期借入金	1,835	1,470
リース債務	21	17
繰延税金負債	7	13
退職給付に係る負債	441	467
負ののれん	134	106
その他	369	324
固定負債合計	2,810	2,399
負債合計	11,254	10,944
純資産の部		
株主資本		
資本金	740	763
資本剰余金	2,107	2,134
利益剰余金	10,003	11,428
自己株式	0	0
株主資本合計	12,851	14,326
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	57	73
その他の包括利益累計額合計	57	73
新株予約権	101	91
非支配株主持分	5	0
純資産合計	13,016	14,492
負債純資産合計	24,271	25,436

(2)【四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書】

【四半期連結損益計算書】

【第3四半期連結累計期間】

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2019年3月1日 至 2019年11月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2020年3月1日 至 2020年11月30日)
売上高	31,410	35,216
売上原価	23,315	25,918
売上総利益	8,095	9,298
販売費及び一般管理費	6,521	7,004
営業利益	1,573	2,293
営業外収益		
受取利息	0	0
受取配当金	4	4
負ののれん償却額	28	28
持分法による投資利益	13	24
受取賃貸料	32	30
事業分量配当金	6	6
その他	48	21
営業外収益合計	134	115
営業外費用		
支払利息	7	7
賃貸費用	16	16
その他	0	0
営業外費用合計	25	24
経常利益	1,683	2,384
特別利益		
関係会社株式売却益	6	-
補助金収入	3	13
特別利益合計	10	13
特別損失		
固定資産処分損	29	49
特別損失合計	29	49
税金等調整前四半期純利益	1,663	2,348
法人税等	508	731
四半期純利益	1,155	1,616
非支配株主に帰属する四半期純利益又は非支配株主に帰属する四半期純損失()	0	0
親会社株主に帰属する四半期純利益	1,155	1,616

【四半期連結包括利益計算書】

【第3四半期連結累計期間】

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2019年3月1日 至 2019年11月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2020年3月1日 至 2020年11月30日)
四半期純利益	1,155	1,616
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	17	15
その他の包括利益合計	17	15
四半期包括利益	1,138	1,632
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	1,138	1,632
非支配株主に係る四半期包括利益	0	0

【注記事項】

（四半期連結財務諸表の作成にあたり適用した特有の会計処理）

（税金費用の計算）

当第3四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算する方法を採用しております。

（追加情報）

（新型コロナウイルス感染症の影響に関する会計上の見積りについて）

新型コロナウイルス感染症の影響について、今後の感染の拡大や収束時期等に係る予測は、最近における感染者数の公表数値及び行政当局の方針等に鑑みると依然として困難な状況であります。

ただし、当該感染症の影響に関して当第3四半期連結累計期間においては、当社グループの四半期連結財務諸表に重要な影響はなく、固定資産の減損及び繰延税金資産の回収可能性等の会計上の見積りについて、前連結会計年度末時点の仮定の見直しは不要であると判断しております。

（四半期連結キャッシュ・フロー計算書関係）

当第3四半期連結累計期間に係る四半期連結キャッシュ・フロー計算書は作成しておりません。なお、第3四半期連結累計期間に係る減価償却費（のれんを除く無形固定資産に係る償却費を含む。）、のれん償却額及び負ののれん償却額は、次のとおりであります。

	前第3四半期連結累計期間 （自 2019年3月1日 至 2019年11月30日）	当第3四半期連結累計期間 （自 2020年3月1日 至 2020年11月30日）
減価償却費	611百万円	683百万円
のれん償却額	76	76
負ののれん償却額	28	28

(株主資本等関係)

前第3四半期連結累計期間(自 2019年3月1日 至 2019年11月30日)

1 配当に関する事項

(1) 配当金支払額

決議	株式の種類	配当金の総額 (百万円)	1株当たり 配当額(円)	基準日	効力発生日	配当の原資
2019年5月30日 定時株主総会	普通株式	179	28	2019年2月28日	2019年5月31日	利益剰余金

(2) 基準日が当第3四半期連結累計期間に属する配当のうち、配当の効力発生日が当第3四半期連結会計期間の末日後となるもの
該当事項はありません。

2 株主資本の著しい変動

該当事項はありません。

当第3四半期連結累計期間(自 2020年3月1日 至 2020年11月30日)

1 配当に関する事項

(1) 配当金支払額

決議	株式の種類	配当金の総額 (百万円)	1株当たり 配当額(円)	基準日	効力発生日	配当の原資
2020年5月28日 定時株主総会	普通株式	191	30	2020年2月29日	2020年5月29日	利益剰余金

(2) 基準日が当第3四半期連結累計期間に属する配当のうち、配当の効力発生日が当第3四半期連結会計期間の末日後となるもの
該当事項はありません。

2 株主資本の著しい変動

当第3四半期連結累計期間において、ストック・オプションに係る新株予約権の権利行使に基づく新株の発行等により、資本金が22百万円、資本剰余金が27百万円それぞれ増加し、当第3四半期連結会計期間末において資本金が763百万円、資本剰余金が2,134百万円となっております。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

前第3四半期連結累計期間(自 2019年3月1日 至 2019年11月30日)及び当第3四半期連結累計期間(自 2020年3月1日 至 2020年11月30日)

当社グループは、漬物製造販売事業の単一セグメントであるため、記載を省略しております。

(1 株当たり情報)

1 株当たり四半期純利益及び算定上の基礎、潜在株式調整後 1 株当たり四半期純利益及び算定上の基礎は、以下のとおりであります。

	前第 3 四半期連結累計期間 (自 2019年 3 月 1 日 至 2019年11月30日)	当第 3 四半期連結累計期間 (自 2020年 3 月 1 日 至 2020年11月30日)
(1) 1 株当たり四半期純利益	180円63銭	252円56銭
(算定上の基礎)		
親会社株主に帰属する四半期純利益 (百万円)	1,155	1,616
普通株主に帰属しない金額 (百万円)	-	-
普通株式に係る親会社株主に帰属する四半期純利益 (百万円)	1,155	1,616
普通株式の期中平均株式数 (株)	6,397,743	6,402,302
(2) 潜在株式調整後 1 株当たり四半期純利益	178円88銭	250円44銭
(算定上の基礎)		
親会社株主に帰属する四半期純利益調整額 (百万円)	-	-
普通株式増加数 (株)	62,774	54,007
希薄化効果を有しないため、潜在株式調整後 1 株当たり四半期純利益の算定に含めなかった潜在株式で、前連結会計年度末から重要な変動があったものの概要	-	-

(重要な後発事象)

該当事項はありません。

2 【その他】

該当事項はありません。

第二部【提出会社の保証会社等の情報】

該当事項はありません。

独立監査人の四半期レビュー報告書

2021年 1月14日

株式会社ビクルスコーポレーション

取締役会 御中

監査法人日本橋事務所

指定社員 公認会計士 遠 藤 洋 一 印
業務執行社員

指定社員 公認会計士 工 藤 和 則 印
業務執行社員

指定社員 公認会計士 新 藤 弘 一 印
業務執行社員

当監査法人は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、「経理の状況」に掲げられている株式会社ビクルスコーポレーションの2020年3月1日から2021年2月28日までの連結会計年度の第3四半期連結会計期間(2020年9月1日から2020年11月30日まで)及び第3四半期連結累計期間(2020年3月1日から2020年11月30日まで)に係る四半期連結財務諸表、すなわち、四半期連結貸借対照表、四半期連結損益計算書、四半期連結包括利益計算書及び注記について四半期レビューを行った。

四半期連結財務諸表に対する経営者の責任

経営者の責任は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期連結財務諸表の作成基準に準拠して四半期連結財務諸表を作成し適正に表示することにある。これには、不正又は誤謬による重要な虚偽表示のない四半期連結財務諸表を作成し適正に表示するために経営者が必要と判断した内部統制を整備及び運用することが含まれる。

監査人の責任

当監査法人の責任は、当監査法人が実施した四半期レビューに基づいて、独立の立場から四半期連結財務諸表に対する結論を表明することにある。当監査法人は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期レビューの基準に準拠して四半期レビューを行った。

四半期レビューにおいては、主として経営者、財務及び会計に関する事項に責任を有する者等に対して実施される質問、分析的手続その他の四半期レビュー手続が実施される。四半期レビュー手続は、我が国において一般に公正妥当と認められる監査の基準に準拠して実施される年度の財務諸表の監査に比べて限定された手続である。

当監査法人は、結論の表明の基礎となる証拠を入手したと判断している。

監査人の結論

当監査法人が実施した四半期レビューにおいて、上記の四半期連結財務諸表が、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期連結財務諸表の作成基準に準拠して、株式会社ビクルスコーポレーション及び連結子会社の2020年11月30日現在の財政状態及び同日をもって終了する第3四半期連結累計期間の経営成績を適正に表示していないと信じさせる事項がすべての重要な点において認められなかった。

利害関係

会社と当監査法人又は業務執行社員との間には、公認会計士法の規定により記載すべき利害関係はない。

以 上

(注) 1 上記は四半期レビュー報告書の原本に記載された事項を電子化したものであり、その原本は当社(四半期報告書提出会社)が別途保管しております。

2 XBRLデータは四半期レビューの対象には含まれていません。